

平成 28 年度かながわアスリート就職支援のための企業説明会

「平成 28 年度（平成 29 年度採用）かながわアスリート就職支援のための企業説明会」を、平成 28 年 5 月 20 日（金曜日）横浜市内で開催しました。

神奈川県体育協会では、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、世界に羽ばたくアスリートを「かながわ」から育てようと、様々な取り組みをしております。

今回の企業説明会は、神奈川県民の代表として国際大会や国民体育大会等での活躍が期待される、県内アスリートに対する平成 29 年度採用に向けた就職支援の一助となるようにと初めて企画し、34 社、4 経済団体など、計 51 名の方々にご参加いただきました。

はじめに、本会の鴻会長から本事業の趣旨をお話しさせて頂き、その後、本会の名誉会長であります山下泰裕先生に記念講演として「オリンピックを語る」と題し、柔道を始めたきっかけから、オリンピックのエピソードや金メダル獲得後の心境の変化、そしてアスリートが置かれている現状などをお話し頂きました。

次に、実際にアスリートを雇用し、女子ラグビーチームを運営し、更には女子のサッカー選手も雇用しております医療法人横浜柏堤会の横川秀男理事長に企業がアスリートを雇用することにでもたらされるプラス効果を実際の事例を元に分かりやすくお話して頂きました。

その後、アスリートが参加企業の皆様に 10 分程度のプレゼンテーションをさせていただきました。

プレゼンテーション終了後には、会場を移して、個別に情報交換をする時間を設け、参加企業の皆さんとアスリートが直接、質問や連絡先の交換などを行いました。

今までは、日本オリンピック委員会（JOC）が「アスナビ」と称して、JOCの強化指定選手を対象にこのような就職支援活動（トップアスリート就職支援ナビゲーション「アスナビ」）を行っておりますが、都道府県体育協会が行うことは、今回が初めてであると思います。

今回の「かながわアスリート就職支援のための企業説明会」は、トップアスリートに少しでも競技に集中できる環境を整備することでさらに活躍が期待でき、企業にとっては社員みんなが、選手を応援することで社内の一体感や選手から何らかの刺激や変化がもたらされるなど、双方にとってメリットのあることだと考えております。

本会では、このような取り組みを通して、神奈川県から世界で活躍するトップアスリートを多く輩出することと、スポーツの力で神奈川が元気になるよう努め、次年度以降も引き続き実施してまいりたいと思っております。

